

03・薬を飲んで欲しくないから、薬を隠す

〈シチュエーション〉

本編02の翌日。9月3週目のある日、7時ごろ。

主人公は、うたに『赤い薬』を飲ませたくない。

多少無理やりにでも、自分に性欲をぶつけるという形で発散させたい。
しかし、それを昨夜はうまく伝えられずに終わってしまった。
そこで主人公は、まずは薬だけでも勝手に持ち出そうとする。

SE1 朝の自室の環境音

【最初から最後まで流す】

【繰り返し流す】

【窓の外の音が、部屋の中から聞こえる】

【0—20秒ほど流してSE2】

【その後、ごく小さな音量でトラック終了まで流し続ける】

SE2 主人公が起き上がる音

【最初から最後まで流す】

SE 3 主人公の足音

【最初から最後まで流す】

SE 4 主人公が薬袋をあさる音

【最初から最後まで流す】

SE 5 主人公の足音2

【最初から最後まで流す】

SE 6 主人公が鞆に薬袋をしまう音

【最初から最後まで流す】

SE 7 主人公が鞆のジッパーを閉める音

【最初から最後まで流す】

ここでフェードアウトして終了。